

# 団体名 大阪市住吉区依羅連合浅香振興町会

## 事業名 ふれあいカフェ「コスモス」

### 事業概要

- 高齢者をはじめとする地域に暮らす方々のコミュニティ形成と生活支援の場として、ふれあいカフェ「コスモス」を運営。また、カフェを拠点としたイベント、介護相談等を実施。

### 解決すべき地域の課題

- コミュニティ施設が無いため、高齢者の孤立化が急速に進んでおり、孤独死なども起こっている。
- 高齢者が集う場所を提供することでコミュニティの活性化を図り、高齢者同士にも見守り機能を持っていただくことにより、体調の異変を早期発見し専門家へ繋ぐなどの支援が必要である。

### 活動状況

- まちのシンボルマークである「コスモス」を店名としたふれあいカフェを営業（月曜日～土曜日（祝日含む）の午前9時30分～午後2時30分）。孤独死を無くしたいという想いから、自分でカフェに足を運んでもらうことを重視しており、安否確認の場にもなっている。
- 近隣の高齢者を中心に、1日平均15人の利用者があり、売上は約4,000円～10,000円/日。団地外からの利用者もみられる。
- モーニングサービスのパンは近隣の知的障がい者の就労支援施設から仕入れ、連携を図っている。
- 喫茶・軽食コーナーの料金は各メニューによる（例：朝食セット300円・他定食600円など）
- 介護に関する相談に応じるため、生活相談員を配置して相談対応を行う場を設置している。



【活動の様子】

### 活動に参加している利用者の状況（市営住宅の住民および近隣住民）

- 主に浅香町内に住む高齢者が利用しているが、町内で働く福祉事業所職員や子育て世代の地域住民の利用も増えてきた。

### 住戸の活用状況

- 店舗改修を約3か月間かけて実施。飲食業営業許可を得るために水回り、冷蔵庫、手洗い等の設備導入をはじめ、改修工事費に400～500万円ほどかかった。
- 店内が一杯になると奥の居室に上がってもらうよう誘導しているが、入口までに階段があり高齢者には使いづらい。
- バリアフリー化と情報提供のためのチラシの設置方法を工夫している。



※間取りは左右反転

### 「市営住宅のコミュニティ活性化事業」の利用による変化

- 高齢者が集うことができたこと（孤立解消）、こどもから高齢者まで利用することができる為、世代間交流ができたこと、生活相談を受け付け、専門家につなぐことができていること、商品販売を行うことで、高齢者の外出機会が増えていることが良かったと考えている。
- 生活相談を福祉専門職に繋ぐことによる介護サービスへの誘導がスムーズに行えるようになった。また日頃から福祉専門職と顔を合わせることが多いので、高齢者が相談しやすい関係づくりができる。
- 地域行事を行う際に情報発信の場として活用している為、高齢者への情報提供ができる。
- 活動を通じ、高齢者が相談しやすい場所になったことにより高齢者に笑顔が増えたこと、世代間交流が増えたことにより地域内で「あいさつ」の声が増えたこと、孤立を防ぐために高齢者一人一人が声をかけ合うようになり孤独死が減少している。
- 野菜の定期販売を行い、地域内に案内チラシを配布することにより、子育て世代の地域住民の利用が増えた。

### 活動団地の場所

【団地名】 浅香南住宅 1号館 103号室

【所在地】 住吉区浅香1丁目5番26号

